

**平成22年度
習志野市補助金審査委員会
審査報告書**

**平成22年7月
習志野市補助金審査委員会**

目 次

見直しにあたって	1
第1章 今回（22年度）の審査対象とする補助金の考え方	2
1 審査対象	2
2 審査の基本的な方法	4
3 審査の流れ	5
第2章 審査の結果	5
1 全体事項	5
2 個別事項	6

資 料

【資料1】 習志野市補助金審査委員会 委員名簿

【資料2】 会議日程

【資料3】 補助金審査委員会のあゆみ

見直しにあたって

習志野市では、平成18年3月に策定された「習志野市補助金制度に関する指針」において、「市施策推進型補助金は、交付開始は行政の判断により行うが、交付開始から3年目に見直しを実施し、その後も3年ごとのサイクルで全面的な見直しを行う。」としています。

補助金は、市が行政目的を効果的かつ効率的に達成する上で、また市民と行政の連携による事業を遂行する上で、重要な役割を果たしてきました。

しかし、補助金の交付が長期化し、かつ既得権化する傾向が見受けられ、更に補助事業として硬直化している事例も多く見られるようになっていたことから、平成18年度に、本補助金審査委員会が設置され、第三者による補助金の見直しに初めて取り組みました。補助金審査委員会では、平成18年度予算に計上された補助金について、当時の全114件の補助金のうち、臨時的な建設的事業費補助金等を除く94件の補助金の審査を行い、見直しの報告書を提出しました。

報告を受けた習志野市は、平成19年度に関係団体との協議を実施し、平成20年度予算から見直し結果を反映しています。

平成22年度は、前回の補助金の見直し結果が実行された平成20年度から3年を経過する平成23年4月に向けての見直しを実施する時期であることから、私たち習志野市補助金審査委員会は、平成18年度に引き続き、市民の立場から、習志野市が交付している補助金の審査を行いました。

市から支出される補助金は、当然にして税金が原資となっており、その税金を負担しているのは、言うまでもなく市民です。補助金は、習志野市の厳しい財政状況を踏まえ、また、その補助目的を鑑みた上で、真に適正かつ効果的な交付と執行がなされるべきです。

そして、補助金交付の理念、つまり公益性の必要性が客観的に認められ、かつ自助努力をしてもなお不足するものに補助するという必要最低限の原則に立ち返り、補助金を受ける団体にあつては、可能な限り、補助金に頼らず運営、事業執行が行えるように努力することを求めます。

一方、行政においては、今後とも透明かつ公平で、市民に開かれた補助金制度の構築に向け努力し、補助金の運用にあたっては、適時の現場視察や支出内容の適切なチェックなど、主体性をもって団体に対する助言、指導していく方向へ、鋭意、転換を進めてください。

このことは、前回審査でも指摘したとおりです。

本委員会では、今回見直し対象とした30件の補助金について、納税者から見た補助金の適正な交付と執行という視点において、本年6月から3回にわたり審査を行い、その結果を別紙のとおり取りまとめましたので、ここに報告書として提出いたします。

なお、補助金全般としては、本委員会における前回の指摘に対し、概ね一定の努力の成果が認められ、その点については評価をしております。

しかし、一方では、市の方針として終期を設定したにもかかわらず守られていないものや、補助金交付事務にあたる市職員の事務コストに係る改善が認められないもの、市の外郭団体における全体的な経営の見直しについて未だ結論を見ていないものなど、前回の本委員会の指摘が活かされていないと感じざるを得ないケースが、幾つか見受けられたことは非常に残念に思います。

今一度、行政にはスピード感を持った見直し作業の必要性を、また、行政と団体の双方の意識改革の重要性を指摘するとともに、納税者たる市民、第三者による提言を、行政として重く受け止めていただき、本報告書の審査結果を十分汲み取られ、強い意志をもって、客観的な事業評価をもとに、見直しに取り組んでいただきたいと思います。

第1章 今回（22年度）の審査対象とする補助金の考え方

22年度当初予算に計上されている補助金において、見直し対象とする補助金の考え方を以下の通りとしました。

【見直し対象とする補助金】

1. 前回の見直し方針の通り見直しが進んでいない補助金
2. 平成19年度から21年度までの新規補助金
(ただし、補助金交付要綱に終期が設定されている補助金を除く。)
3. 市の見直し方針通り、若しくはそれ以上の見直しを実施しているが、外部環境等の変化により、再度、見直しを行うことが適当と思われる補助金
(平成22年度予算額が500万円以上の補助金を見直し対象とする。)

1 審査対象

(1) 前回の見直し方針通り見直しが進んでいない補助金〔7件〕

連番	審査No.	補助金名称	所管課	21年度 予算額	22年度 予算額	増減額	備考	平成20年3月末 市としての 最終決定(適用予定年度)		平成22年 4月1日現在の状況	
1	1	財団法人習志野市スポーツ振興協会運営費等補助金	生涯学習部 生涯スポーツ課	52,531	60,524	7,993	体育協会事務の移管による臨採職員の雇用等に伴う人件費の増	減額	19年度から	増額	20年度減額 22年度増額
2	2	習志野市労働団体厚生事業補助金	市民経済部 商工振興課	800	560	△ 240	経営改革プランによる減	徐々に減額 その後廃止	21年度末 廃止	減額	25年度末 廃止予定
3	3	たばこ組合活動補助事業補助金	市民経済部 商工振興課	400	280	△ 120	経営改革プランによる減	徐々に減額 その後廃止	21年度末 廃止	減額	25年度末 廃止予定
4	4	工業活性化補助事業	市民経済部 商工振興課	300	210	△ 90	経営改革プランによる減	徐々に減額 その後廃止	21年度末 廃止	減額	25年度末 廃止予定
5	5	土壌改良事業補助金	市民経済部 農政課	4,500	4,540	40	対象事業費の増	継続	21年度から 土壌改良事業と野菜指定 産地振興 対策事業と 野菜価格安 定対策事業 補助金を統 合	継続	未統合
6	6	野菜指定産地振興対策事業補助金	市民経済部 農政課	5,225	4,536	△ 689	対象事業費の減	継続	21年度から 土壌改良事業と野菜指定 産地振興 対策事業と 野菜価格安 定対策事業 補助金を統 合	継続	未統合
7	7	野菜価格安定対策事業補助金	市民経済部 農政課	1,000	1,000	0		継続	21年度から 土壌改良事業と野菜指定 産地振興 対策事業と 野菜価格安 定対策事業 補助金を統 合	継続	未統合

(2) 平成19年度から21年度までの新規補助金〔8件〕

連番	審査No.	補助金名称	所管課	21年度 予算額	22年度 予算額	増減額	備考	平成20年3月末 市としての 最終決定(適用予定年度)		平成22年 4月1日現在の状況	
8	8	ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業補助金	市民経済部 農政課	400	600	200	対象事業費の増			継続	
9	9	共撰・共販支援事業補助金	市民経済部 農政課	500	600	100	対象事業費の増			継続	
10	22	習志野市民間認可保育所運営費補助金	こども部 こども保育課	59,719	66,862	7,143	対象者の増			継続	
11	13	習志野市市民参加型補助金	企画政策部 市民協働推進課	6,092	2,440	△ 3,652	実績による削減			減額	22年度より
12	10	生産組織活動費補助金	市民経済部 農政課	420	420	0				継続	
13	14	習志野市コミュニティバス補助金	企画政策部 企画政策課	38,732	62,410	23,678	京成大久保駅ルート本格 運行開始			増額	22年度から
14	15	習志野市職員大学院公共政策研究科等受講費助成金	総務部 人事課	1,000	1,000	0				継続	
15	20	習志野市住宅用太陽光発電システム設置費補助金	環境部 環境政策課	3,000	8,200	5,200	対象者の増(30件×100千 円→100件×82千円)			増額	22年度から

(3) 市の見直し方針通り、若しくはそれ以上の見直しを実施しているが、外部環境等の変化により、再度、見直しを行うことが適当と思われる補助金
(平成22年度予算額が500万円以上の補助金を見直し対象とする)〔15件〕

連番	審査No.	補助金名称	所管課	21年度 予算額	22年度 予算額	増減額	備考	平成20年3月末 市としての 最終決定(適用予定年度)	平成22年 4月1日現在の状況
16	16	習志野市職員互助会補助金	総務部 人事課	10,459	10,297	△ 162	・補助率の見直し(H19) ・職員給与総額の減による削減(H20, 21, 22)	減額	19年度から 同左・更に減額 20, 21, 22年度追加
17	25	社会福祉法人習志野市社会福祉協議会補助金	保健福祉部 社会福祉課	71,447	67,602	△ 3,845	・人件費の見直しによる削減(H19, 20, 22) ・事業費見直し(H21)	減額	19年度から 同左・更に減額 19, 20, 21, 22年度追加
18	26	社団法人習志野市シルバー人材センター補助金	保健福祉部 高齢社会対策課	13,774	13,774	0	自立的な経営可能な団体への移行の為、H17から5か年毎年1,000千円削減	減額	19年度から 同左
19	11	習志野商工会議所補助事業	市民経済部 商工振興課	21,000	21,000	0		減額	20年度から 同左
20	17	習志野市国際交流協会運営費補助金	総務部 まちづくり推進課	11,425	11,132	△ 293	事業費及び人件費分の見直し	事務所運営費と統合・減額	20年度から 同左・更に減額 22年度から
21	27	習志野市老人クラブ補助金	保健福祉部 高齢社会対策課	6,584	6,544	△ 40		統合	19年度から 同左
22	28	習志野市防犯灯維持管理費補助金	都市整備部 道路交通課	22,345	20,756	△ 1,589	上限単価の見直しによる減	継続	19年度から事務改善 減額 22年度から
23	18	習志野市地区連合町会運営費補助金	総務部 まちづくり推進課	7,939	7,971	32	補助金の算出における世帯数の増	地域まつり支援事業補助金と統合、その他は継続	20年度から 同左
24	19	習志野市自主防災組織助成金	総務部 安全対策課	7,051	7,085	34	対象者の増	継続	継続
25	21	習志野市有価物回収事業補助金	環境部 クリーン推進課	21,944	20,188	△ 1,756	収集量の減(5,734t→5,047t)	継続	減額 21(単価見直し)、22年度
26	12	習志野市民まつり開催事業補助金	市民経済部 商工振興課	5,000	5,000	0		継続	継続
27	23	習志野市民間保育施設入所児童助成金	こども部 こども保育課	20,200	40,268	20,068	対象者の増	継続	継続
28	24	習志野市私立幼稚園就園奨励費補助金	こども部 こども保育課	110,309	106,223	△ 4,086	対象者の減	継続	継続
29	29	習志野文化ホール運営費等補助金	生涯学習部 社会教育課	92,571	99,406	6,835	派遣職員数の増に伴う人件費の増	継続	減額 21年度から(運営費見直し)
30	30	習志野市体育協会活動費補助金	生涯学習部 生涯スポーツ課	5,747	5,747	0		継続	減額 20年度から(事業内容見直し)

【別表】指針で定める6つの種類に分類した結果

区 分	審査対象
事業費補助金	14件
団 体 補 助 金	9件
市 施 策 補 完 型	(5件)
団 体 育 成 型	(4件)
公 共 的 な 事 業 補 助 金	4件
サ ー ビ ス 格 差 是 正 補 助 金	2件
市 民 参 加 型 補 助 金	1件
計	30件

2 審査の基本的な方法

前回同様、事務局から審査のための資料として提出された、目的・金額等を記載した補助金調書、補助金交付団体等からの実績報告書、要綱等の根拠法令について、これを妥当として、これらの資料をもとに審査を実施しました。

審査においては、「習志野市補助金制度に関する指針」（以下、「指針」という。）の12～14ページ、「市施策推進型補助金の審査方法」の「習志野市市施策推進型補助金審査基準」に則り審査をしましたが、前回の見直し時の議論に基づき、「第5 審査項目」の観点（達成度、補完性、波及性、経営度、将来性、時代性）は、判断の参考とし、結論としては、以下「第6見直し基準」の6分類に仕分けをしました。

1. 継続

- ① 補助金の交付目的を十分に達成していて、引き続きその役割を期待されるもの
- ② 多少の指摘事項はあるが、交付を継続することによってより効果が得られると認められるもの

2. 整理・統合

- ① 補助の必要性は認められるが、同一団体への類似補助や同一目的の複数補助があるなど、整理統合することが必要であると認められるもの

3. 減額・上限設定

- ① 補助の必要性はある程度認められるが、費用対効果がそれほど高くなく、減額すべきと判断されるもの
- ② 繰越金が比較的多いことや独自収入が多額などのことにより、上限を設定した方が良いと判断されるもの

4. 終期設定（期間限定）

- ① 自助、自立が図られつつある団体で補助の目的が達成しつつあるもの
- ② 将来明らかに補助の必要性がなくなるもの

5. 支出科目見直し

- ① 必要な金額について、他の方法で支出（委託料、報償費等）を検討すべきもの

6. 廃止

- ① 審査基準による評価が極めて低く、原則交付すべきでないもの
- ② 明らかに自助、自立が認められる団体であるため、交付対象からはずすべきもの
- ③ 事業目的が完了された団体であるため、原則交付対象からはずすべきもの

3 審査の流れ

(1) 補助金調書等による内容審査

事務局から、補助金調書及び実績報告書、その他審査に必要な書類を会議開催前に送付を受け、各々の視点から、また、指針の14ページの補助金評価表の視点から、内容を審査しました。



(2) 会議における議論

会議において議論し、おおむね1回の会議時間2時間30分の中で9～12件程度を審査するペースで進め、計3回の会議で対象とする30件の補助金の審査を終了しました。

なお、会議には補助金の所管部は同席せず、質問事項については、事務局（経営改革推進室・財政課）で応答することとしました。（各補助金についての結論は、委員長判断のもと、議論を集約する中で、事務局にて論点を整理し、次回の会議で各委員に諮るものとしてしました。）



(3) 審議にあたり、資料不足、議論が不足等の理由により、会議で意見がまとまらなかった場合は、次回の会議までに事務局にて内容を整理し、事前に資料を配布し、再審査することとしました。



(4) 取りまとめ

すべての審査が終了後、審査結果を報告書として取りまとめました。

その後、報告書を市長に提出し、併せて公表をします。

第2章 審査の結果

1 全体事項

すべての補助金を審査した中で、全体を通じて、次の点を指摘します。

(1) 団体補助金における市施策補完型事業へのサンセット方式導入による課題について

各補助金交付要綱を見ると、前回の見直しに併せ、多くの要綱には、3年間のサンセット方式が明記されています。しかし、団体補助金のうち、市施策補完型の事業において、自治の根幹となるような事業についても、サンセット方式を導入したことについては、その趣旨が対象事業になじむのか、といった疑問を感じます。勿論、3年が経過した後、全ての補助金を一度フラットに見直すという考え方については理解できますが、行政として、今一度、その在り方を検討すべきであると思います。

(2) 支出科目の精査について

市施策補完型の事業については、委託事業に近い部分が見受けられます。

これらについては、事業内容を再度整理した上で、市の施策として実施する必要性があるならば、団体への補助金としてではなく、委託事業として支出すべきと考えます。

(3) 事務局機能の効率化について

前回審査時に指摘した補助金交付事務における市職員の人件費の多さが改善されていない事業が散見されることは、大変遺憾です。人件費を圧縮するためにいかなる事務の合理化をすべきか、ということ了他市の事例等を参考とし、真剣に検討していただきたいと思います。

(4) 実績報告書の審査及び補助金交付の評価について

今回の審査において、実績報告書が、補助金交付の効果を評価できる内容となっているのか疑問を持たざるを得ないものが見受けられました。各補助金の所管課においては、補助金の原資が税金であり、財政状況が厳しい中で交付している補助金であることをしっかりと理解した上で、実績報告書を審査し、補助金交付による効果をきちんと検証することを求めます。

なお、行政評価と連携し、補助金もきちんと評価することを要望します。

2 個別事項

(1) 総括表

30件を審査して、1件毎に今後の方向性を、前述の指針「第6 見直し基準」の6つ〔継続、整理・統合、減額・上限設定、終期設定（期間限定）、支出科目見直し、廃止〕に分類し、結論付けました。

その結果、継続が13件、整理・統合1件、減額・上限設定が7件、終期設定（期間限定）が1件、支出科目見直しはなし、廃止が8件となりました。

区 分	審査対象	今後の方向性					
		継続	整理・統合	減額・上限設定	終期設定（期間限定）	支出科目見直し	廃止
事業費補助金	14件	2件	1件	3件	1件		7件
団体補助金	9件	6件		2件			1件
市施策補完型	(5件)	(3件)		(2件)			
団体育成型	(4件)	(3件)					(1件)
公共的事業補助金	4件	2件		2件			
サービス格差是正補助金	2件	2件					
市民参加型補助金	1件	1件					
計	30件	13件	1件	7件	1件	0件	8件
割合	100%	43.3%	3.3%	23.3%	3.3%	0.0%	26.7%

(2) 個別評価

次頁より、個々の補助金の審査結果を掲載します。

なお、千葉みらい農業協同組合に支出されている6件の補助金については、本審査では、基本的には廃止と結論づけていますが、補助金の統合のメリット、デメリット等を再検討し、新たな形で制度設計を行う中で、千葉みらい農業協同組合との協議・連携により、農家に対する補助金制度の在り方を見直す時期であると考えます。

平成22年度補助金審査委員会における補助金審査結果一覧【全30件】

審査No.	分類	補助金名称	所管課	審査結果
13	2	習志野市市民参加型補助金	企画政策部 市民協働推進課	継続
15	2	習志野市職員大学院公共政策研究科等受講費助成金	総務部 人事課	継続
22	2	習志野市民間認可保育所運営費補助金	こども部 こども保育課	継続
12	3	習志野市民まつり開催事業補助金	市民経済部 商工振興課	継続
18	3	習志野市地区連合町会運営費補助金	総務部 まちづくり推進課	継続
19	3	習志野市自主防災組織助成金	総務部 安全対策課	継続
21	3	習志野市有価物回収事業補助金	環境部 クリーン推進課	継続
23	3	習志野市民間保育施設入所児童助成金	こども部 こども保育課	継続
24	3	習志野市私立幼稚園就園奨励費補助金	こども部 こども保育課	継続
26	3	社団法人習志野市シルバー人材センター補助金	保健福祉部 高齢社会対策課	継続
27	3	習志野市老人クラブ補助金	保健福祉部 高齢社会対策課	継続
28	3	習志野市防犯灯維持管理費補助金	都市整備部 道路交通課	継続
30	3	習志野市体育協会活動費補助金	生涯学習部 生涯スポーツ課	継続
4	1	工業活性化補助事業	市民経済部 商工振興課	整理・統合
1	1	財団法人習志野市スポーツ振興協会運営費等補助金	生涯学習部 生涯スポーツ課	減額・上限設定
11	3	習志野商工会議所補助事業	市民経済部 商工振興課	減額・上限設定
14	2	習志野市コミュニティバス補助金	企画政策部 企画政策課	減額・上限設定
16	3	習志野市職員互助会補助金	総務部 人事課	減額・上限設定
17	3	習志野市国際交流協会運営費補助金	総務部 まちづくり推進課	減額・上限設定
25	3	社会福祉法人習志野市社会福祉協議会補助金	保健福祉部 社会福祉課	減額・上限設定
29	3	習志野文化ホール運営費等補助金	生涯学習部 社会教育課	減額・上限設定
20	2	習志野市住宅用太陽光発電システム設置費補助金	環境部 環境政策課	終期設定(期間限定)
2	1	習志野市労働団体厚生事業補助金	市民経済部 商工振興課	廃止
3	1	たばこ組合活動補助事業補助金	市民経済部 商工振興課	廃止
5	1	土壌改良事業補助金	市民経済部 農政課	廃止
6	1	野菜指定産地振興対策事業補助金	市民経済部 農政課	廃止
7	1	野菜価格安定対策事業補助金	市民経済部 農政課	廃止
8	2	ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業補助金	市民経済部 農政課	廃止
9	2	共撰・共販支援事業補助金	市民経済部 農政課	廃止
10	2	生産組織活動費補助金	市民経済部 農政課	廃止

◆審査結果：継続13件、整理・統合1件、減額・上限設定7件、終期設定（期間限定）1件、支出科目見直し0件、廃止8件

- ※分類：1 前回の見直し方針通り見直しが進んでいない補助金
 2 平成19年度から21年度までの新規補助金
 3 市の見直し方針通り、若しくはそれ以上の見直しを実施しているが、外部環境等の変化により、再度、見直しを行うことが適当と思われる補助金

審査No. 1			
補助金名称	財団法人習志野市スポーツ振興協会運営費等補助金		
交付対象	習志野市スポーツ振興協会		
担当課	生涯学習部生涯スポーツ課		
交付開始年度	昭和47年度	22年度予算額	61,580千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の補助金審査において、人件費等の経費を見直す中で、自立を目指し補助金額の削減努力を指摘しましたが、近年、補助金額が増加しています。再度、補助金の削減に向けた取り組みを進めるよう求めます。</p> <p>その際、指定管理者としての事業とスポーツ振興のための事業に要する事業報告と会計処理を明確化する必要があります。</p> <p>また、スポーツ教室の受益者負担のあり方を検討してください。</p>		

審査No. 2			
補助金名称	習志野市労働団体厚生事業補助金		
交付対象	日本労働組合総連合会千葉県連合会総武地域協議会		
担当課	市民経済部商工振興課		
交付開始年度	昭和36年度	22年度予算額	560千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>平成19年度以降、補助金申請が無い状況が続いています。</p> <p>前回の補助金の審査結果及び市の方針に基づき、補助金は廃止すべきです。</p>		

審査No. 3			
補助金名称	たばこ組合活動補助事業補助金		
交付対象	千葉たばこ商業協同組合		
担当課	市民経済部商工振興課		
交付開始年度	昭和50年度	22年度予算額	280千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の補助金審査の結果を踏まえた市の方針では、平成21年度の廃止を決定しています。補助金は廃止すべきです。</p>		

審査No. 4			
補助金名称	工業活性化補助事業		
交付対象	習志野市工業地域団体連合会		
担当課	市民経済部商工振興課		
交付開始年度	平成 7 年度	2 2 年度予算額	210 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の補助金審査の結果を踏まえた市の方針では、平成 21 年度の廃止を決定しています。その後の経済状況の変化は理解しますが、前回の指摘の通り商工会議所との連携について検討してください。</p> <p>なお、目指すべき工業活性化策とその方法について、補助金の目的と併せて、市として真剣に検討する必要があります。</p>		

審査No. 5			
補助金名称	土壌改良事業補助金		
交付対象	千葉みらい農業協同組合		
担当課	市民経済部農政課		
交付開始年度	昭和 5 5 年度	2 2 年度予算額	4,540 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>No. 5～No. 7 の補助金を含め、千葉みらい農業協同組合に対して、事業ごとに細かく分けて、様々な補助金が支出されています。</p> <p>前回の指摘は、農業の自立性・自発性を高めるとともに、事務の効率化や簡素で効果的な制度とするため、千葉みらい農業協同組合に支出されている補助金を統合し、その中で、農家のニーズに対応でき、工夫のできる補助金制度を目指すべきであり、そのうえで適宜補助金を減額すべきというものでした。</p> <p>今回の審査においては、その指摘が活かされていないことを、再度指摘せざるを得ません。</p> <p>また、補助金交付要綱が平成 20 年度に改正され、3 年間のサンセット方式が導入されていますので、着実な実施を求めます。</p> <p>そのうえで、補助金の統合のメリット、デメリット等を再検討し、新たな形で制度設計を行うことを求めます。</p> <p>なお、全体として、他市に比べ、本市の農家に対する補助金の手厚くなっています。千葉みらい農業協同組合との協議・連携により、農家に対する補助金制度のあり方を見直す時期であると考えます。</p>		

審査No.6			
補助金名称	野菜指定産地振興対策事業補助金		
交付対象	千葉みらい農業協同組合		
担当課	市民経済部農政課		
交付開始年度	平成元年度	22年度予算額	4,536千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	No.5に同じ		

審査No.7			
補助金名称	野菜価格安定対策事業補助金		
交付対象	千葉みらい農業協同組合		
担当課	市民経済部農政課		
交付開始年度	平成元年度	22年度予算額	1,000千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	No.5に同じ		

審査No.8			
補助金名称	ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業補助金		
交付対象	千葉みらい農業協同組合習志野支部園芸部人参部会		
担当課	市民経済部農政課		
交付開始年度	平成18年度	22年度予算額	600千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は育成型の補助金であり、補助金交付要綱の制定から3年を経過した23年度に補助金は廃止すべきです。</p> <p>なお、この事業内容には賛同しますが、本来は千葉みらい農業協同組合が組合事業として実施すべき事業と考えられます。</p> <p>また、事業報告書からは事業の効果・成果が見えてこないことを指摘しておきます。</p>		

審査No. 9			
補助金名称	共撰・共販支援事業補助金		
交付対象	千葉みらい農業協同組合		
担当課	市民経済部農政課		
交付開始年度	平成19年度	22年度予算額	600千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	No. 5 に同じ		

審査No. 10			
補助金名称	生産組織活動費補助金		
交付対象	千葉みらい農業協同組合		
担当課	市民経済部農政課		
交付開始年度	平成4年度	22年度予算額	420千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>農業の担い手育成という観点から補助金の必要性は認めます。しかし、その内容をみると、補助金の目的が達成できる内容か疑問です。No. 5 の指摘事項とあわせ検討を求めます。</p>		

審査No. 11			
補助金名称	習志野商工会議所補助事業		
交付対象	習志野商工会議所		
担当課	市民経済部商工振興課		
交付開始年度	昭和62年度	22年度予算額	21,000千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の補助金審査結果を踏まえ、補助金の削減が実施されたことは評価します。しかし、依然として、補助金額は近隣市に比べ多額です。今後も会員の拡大等による自己収入の確保や人件費等の管理経費の削減に努め、補助金に頼らない自立した団体への移行を求め、補助金の減額を求めます。</p>		

審査No.1 2			
補助金名称	習志野市民まつり開催事業補助金		
交付対象	習志野市民まつり実行委員会		
担当課	市民経済部商工振興課		
交付開始年度	平成6年度	22年度予算額	5,000千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民まつりが、市民に定着し、参加人数も増加していること、また、経費削減に努めていることから、補助金の継続は理解します。ただし、市政施行60周年を目指した基金を設置し積立を開始しています。基金の目的、目標金額と市からの補助金の関係を整理し、明確化してください。</p> <p>なお、今後も、市民まつりのあり方、経費節減、市の職員の関わり方などの検討を求めます。</p>		

審査No.1 3			
補助金名称	市民参加型補助金		
交付対象	各採択団体		
担当課	企画政策部市民協働推進課		
交付開始年度	平成20年度	22年度予算額	2,440千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民協働を推進するための重要な手法のひとつです。補助金の目的にある「『新たな支え合い』の担い手を多数創出する」ことを達成するために、多くの団体が参加し効果的な事業提案がなされるよう、他市の事例研究などの工夫を行い、市民協働型社会を育てていくために更に努力されることを求めます。</p>		

審査No.1 4			
補助金名称	習志野市コミュニティバス補助金		
交付対象	京成バス株式会社		
担当課	企画政策部企画政策課		
交付開始年度	平成21年度	22年度予算額	62,410千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本市にふさわしい公共交通システムのあり方を検討するとともに、利用率の向上、バス事業者の経費節減努力を促すことで、本市にとっては多額な財政負担となる補助金の減額を求めます。</p>		

審査No.15			
補助金名称	習志野市職員大学院公共政策研究科等受講費助成金		
交付対象	職員		
担当課	総務部人事課		
交付開始年度	平成20年度	22年度予算額	1,000 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>組織は人で決まります。</p> <p>市政運営の中核となり、将来を担う人材育成のためにお金をかけることは、将来の本市の発展のために必要かつ重要な取り組みであり、その結果が市民サービスに還元されることとなります。</p> <p>今後、地域主権改革が進む中で、都市間競争に勝ち抜いて行くためには、限られた人材を如何に育て活用できるかが鍵になってきます。本補助金を充実するとともに、更なる人材育成を求めます。</p>		

審査No.16			
補助金名称	習志野市職員互助会補助金		
交付対象	習志野市職員互助会		
担当課	総務部人事課		
交付開始年度	昭和39年度	22年度予算額	10,297 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の指摘事項等に対応した見直しに努力していることが認められました。しかし、住民からの自治体職員の福利厚生費を含めた人件費に対する厳しい視線は現在も変わっていません。</p> <p>また、その後の近隣市の取り組み状況を踏まえると、なお一層の努力が必要となっています。従って、更なる減額を求めます。</p>		

審査No.17			
補助金名称	習志野市国際交流協会運営費補助金		
交付対象	習志野市国際交流協会		
担当課	総務部まちづくり推進課		
交付開始年度	昭和62年度	22年度予算額	11,132 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>補助金の統合という成果はあったものの、残念ながら、前回の審査時の本委員会からの指摘事項に対する市の決定及び団体の意向が実行できているようには見えませんでした。従って、前回の指摘事項を再度指摘せざるを得ません。</p> <p>事務所費、人件費の見直しを求めます。また、市が行うべき事業と協会の事業に峻別し、市が行うべき事業については、業務委託として支出し、補助金額の減額を求めます。</p>		

審査No.18			
補助金名称	習志野市地区連合町会運営費補助金		
交付対象	各地区連合町会		
担当課	総務部まちづくり推進課		
交付開始年度	平成4年度	22年度予算額	7,971 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>自治振興という目的達成における連合町会の役割の重要性は認識しています。また、前回の指摘事項に対する改善努力は認めます。今後も、補助金を支出することに伴う効果の検証を行い、適切な補助金執行に努めてください。</p> <p>なお、補助金全般の指摘になりますが、20年度の補助金交付要綱の全面改正時におけるサンセット方式の導入について、本補助金のような自治の根幹となる制度運用に関わる補助金にまでサンセット方式を導入することは疑問です。従って、市の考え方を再度、整理・検討する必要があるのではないかと考えます。</p>		

審査No.19			
補助金名称	習志野市自主防災組織助成金		
交付対象	各自主防災組織		
担当課	総務部安全対策課		
交付開始年度	昭和50年度	22年度予算額	7,085 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢化が進む中で、地域が主体となった防災活動の重要性は認めます。ただし、一部では、防災訓練時の役割や独居老人の把握など、実質的な地域防災活動における実効性、効果に疑問を抱かせる声も聞こえます。是非、補助金が有効に機能するための効果測定を実施してください。</p> <p>なお、本補助金に対するサンセット方式については、No.18と同様の指摘をします。</p>		

審査No.20			
補助金名称	習志野市住宅用太陽光発電システム設置費補助金		
交付対象	市民		
担当課	環境部環境政策課		
交付開始年度	平成21年度	22年度予算額	8,200 千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地球温暖化問題が深刻化する中、低炭素社会の実現に向け、環境負荷低減策の一環として本事業に取り組む市の姿勢は評価しますが、国と自治体との役割分担や補助金制度のあり方など、もう少し検討の余地が認められます。</p> <p>また、本補助金は市民への意識啓発、新しい機器の普及促進を主旨とするものと認識しますが、その際、一定の補助制度期間を定め（終期設定）、効果測定の後、必要であれば延長する等の対応が必要と考えます。従って、終期の設定を求めます。</p>		

審査No.2 1			
補助金名称	習志野市有価物回収事業補助金		
交付対象	習志野市資源回収協同組合加入の有価物回収業者		
担当課	環境部クリーン推進課		
交付開始年度	平成4年度	22年度予算額	20,188千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成20年度に補助金額を見直したことは評価します。しかし、この補助事務に係る人件費が多額であることを前回指摘しましたが改善が図られていません。このことを再度指摘します。</p> <p>また、有価物は市況品であることから、今後も価格変動への対応を適宜実施するよう求めます。</p>		

審査No.2 2			
補助金名称	習志野市民間認可保育所運営費補助金		
交付対象	社会福祉法人ひこぼえ（かすみ保育園）		
担当課	こども部こども保育課		
交付開始年度	平成19年度	22年度予算額	61,862千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>保育需要に応えるために民間事業者の参入を促し、市の目指す保育水準を維持しつつ、官と民が連携して子育て支援を行っていくための支援制度であり継続とします。</p> <p>なお、補助金額も多額であり、今後、民間参入が増加すれば、市の負担も増加します。</p> <p>今後も国の制度改正の動きなど社会情勢の変化を踏まえつつ、適切な補助金執行に努めてください。</p>		

審査No.2 3			
補助金名称	習志野市民間保育施設入所児童助成金		
交付対象	市内の民間保育所に入所している児童の保護者		
担当課	こども部こども保育課		
交付開始年度	平成14年度	22年度予算額	40,268千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>少子高齢化が進む中、子育て支援の充実は多くの市民が望む、最重要の施策となっています。保育需要の増加に対応した本補助金は必要であると考え、継続とします。</p>		

審査No.24			
補助金名称	習志野市私立幼稚園就園奨励費補助金		
交付対象	私立幼稚園に通園する一定の要件を満たす3歳～5歳児の保護者		
担当課	こども部こども保育課		
交付開始年度	昭和50年度	22年度予算額	106,223千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>国の制度に市が上乗せする形で実施している子育て支援のための補助金であり、各市が独自の金額で補助金を支出しています。政策的な補助金であり継続とします。</p> <p>ただし、本市はこども園を含め15の公立幼稚園を運営し、園児は定員の5割程度となっている状況を踏まえ、市が単独で上乗せして実施している奨励費については、所得階層の区分を含め、公立幼稚園のあり方と併せ早急な検討が必要です。</p>		

審査No.25			
補助金名称	社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会補助金		
交付対象	社会福祉法人習志野市社会福祉協議会		
担当課	保健福祉部社会福祉課		
交付開始年度	昭和42年度	22年度予算額	66,466千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>社会福祉法に位置づけられた社会福祉協議会の公的な役割は理解しますが、補助金の大部分が人件費に対する補助金であり、市民の税金が原資です。</p> <p>社会福祉協議会及び支部の活動に、これだけ多額の補助金が支出されていることに対して、市民の理解が得られる努力をしていただきたい。</p> <p>また、社会福祉協議会の経営全般に関して納税者を含む形の中で見直しを行い、補助金の減額に努力されることを求めます。</p>		

審査No.26			
補助金名称	社団法人 習志野市シルバー人材センター補助金		
交付対象	社団法人 習志野市シルバー人材センター		
担当課	保健福祉部高齢社会対策課		
交付開始年度	昭和56年度	22年度予算額	13,774千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の審査以降の補助金の削減や受託事業における企業受託割合の向上、会員数の増加などの努力が認められました。</p> <p>しかし、補助金の大部分が人件費であることから、引き続き、人件費の見直しに努力されることを求めます。</p>		

審査No.27

補助金名称	習志野市老人クラブ補助金		
交付対象	単位老人クラブ及び習志野市あじさいクラブ連合会		
担当課	保健福祉部高齢社会対策課		
交付開始年度	昭和38年度	22年度予算額	6,544千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢化が進む中で、高齢者の生きがいと健康づくりのために支出される補助金の主旨は理解し継続とします。</p> <p>しかし、事業報告書の内容から、老人クラブの活動に地域的な差もあり、補助金が効果的に活かされているか疑問もあります。</p> <p>事務局が市側にあり、人件費の負担も大きいことも含め、補助金の主旨が活かされ、高齢者が生き生きと活動していけるような効果的な補助金となるよう更なる改善を求めます。</p>		

審査No.28

補助金名称	習志野市防犯灯維持管理費補助金		
交付対象	各町会・自治会等		
担当課	都市整備部道路交通課		
交付開始年度	昭和46年度	22年度予算額	20,756千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民生活の安全・安心の確保という目的を持ち、自治振興を図るための補助金として継続とします。</p> <p>ただし、前回も指摘した事務に係る人件費の改善が全く行われていません。この点は強く指摘します。</p> <p>なお、各市の事例を研究するなどし、早急に、より効果的な防犯灯の維持管理ができる手法の検討と実施を求めます。</p>		

審査No.29

補助金名称	習志野文化ホール運営費等補助金		
交付対象	財団法人習志野文化ホール		
担当課	生涯学習部社会教育課		
交付開始年度	昭和53年度	22年度予算額	182,232千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>補助事業等実績報告書を見ると、収支差損が補助金額となっています。補助金交付要綱に規定されている通りですが、この仕組みのままで、経営改善に対するインセンティブが働くか疑問です。</p> <p>前回も指摘した通り、運営全体を見直した中で、補助金の削減に向けた取り組みを求めます。</p>		

審査No.30

補助金名称	習志野市体育協会活動費補助金		
交付対象	習志野市体育協会		
担当課	生涯学習部生涯スポーツ課		
交付開始年度	昭和47年度	22年度予算額	5,747千円
見直し基準の適用	具体的な内容・理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理・統合 <input type="checkbox"/> 減額・上限設定 <input type="checkbox"/> 終期設定（期間限定） <input type="checkbox"/> 支出科目見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<p>体育協会の役割は理解し、補助金は継続とします。 ただし、「一市民・一スポーツ」を推進するためのスポーツ振興協会と体育協会の役割を整理する必要があると考えます。 また、補助金は継続としますが更なる経費削減努力を求めます。</p>		

資料

【資料1】習志野市補助金審査委員会 委員名簿

氏名	選出区分	役職
はっとり 服部 けいいちろう 啓一郎	その他市長が認めたもの	委員長
こいずみ 小泉 ひでこ 英子	習志野市経営改革懇話会の委員	副委員長
かまた 鎌田 もとひろ 元弘	学識経験者	委員
こやなぎ 小柳 あきら 晟	公募	委員
せきね 関根 ただお 忠男	その他市長が認めたもの	委員

〔任期：平成20年7月22日～平成22年7月21日〕

【資料2】会議日程

回	日	議題
第1回	平成22年5月21日（金）	1. 平成22年度市民参加型補助金実施計画について 2. 既存補助金の審査及び今後のスケジュールについて
第2回	平成22年6月23日（水）	1. 補助金の審査方法について 2. 補助金の審査について
第3回	平成22年6月30日（水）	1. 前回の審査結果について 2. 補助金の審査について
第4回	平成22年7月8日（木）	1. 前回の審査結果について 2. 補助金の審査について

【資料3】補助金審査委員会のあゆみ

（1）習志野市行政改革懇話会からの提言

市民から構成され、市の行政改革について意見を述べる機関である習志野市行政改革懇話会から、平成17年7月に補助金の見直しに関しての「提言書～市民に開かれた補助金制度の構築を目指して～」が市長に提出されました。この中で、現在の補助金制度の問題点が指摘されるとともに、その解決策として、統一した基準を策定することや第三者機関による補助金の審査が必要との提案がなされました。

（2）習志野市補助金制度に関する指針の策定

市では提言書を受けて、18年3月に「習志野市補助金制度に関する指針」を策定し、今後の補助金制度の方向性を決定しました。市として統一した基準を作成するとともに、第三者機関として「習志野市補助金審査委員会」を設置して既存の補助金（指針ではこれを「市施策推進型補助金」と呼ぶ。）の見直しに取り組むこと、併せて公募型補助金（同「市民参加型補助金」）を創設することとされました。

（3）習志野市補助金審査委員会の設置及び審査

18年4月1日に市施策推進型補助金の見直しと市民参加型補助金の創設及び審査を目的として、本委員会が設置されました。同年5月22日に委員5名が市長より委嘱され、委員会は市施策推進型補助金の見直しに着手し、18年当時全114件の補助金のうち、臨時的な建設的事業費補助金等を除く94件の補助金の審査を行い、その結果を報告書としてまとめ、市長宛て提出しました。

また、20年度には、市民参加型補助金が創設され、その審査を行う市民参加型補助金審査委員会の構成員として、本補助金審査委員会委員が審査に取り組むこととなりました。